

【生徒質問紙調査より】

質問：家で学校の宿題をしていますか？

	当てはまる	どちらかというと当てはまる	どちらかというと当てはまらない	当てはまらない
本校生徒の割合	63. 4	30. 7	4. 0	2. 0
京都府の割合	63. 5	24. 6	8. 2	3. 5
全国の割合	67. 7	21. 8	7. 5	2. 9

質問：「総合的な学習の時間」では、自分で課題をたてて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか？

	当てはまる	どちらかというと当てはまる	どちらかというと当てはまらない	当てはまらない
本校生徒の割合	19. 8	47. 5	21. 8	10. 9
京都府の割合	18. 7	43. 6	26. 5	11. 1
全国の割合	21. 3	43. 0	25. 7	9. 7

毎日宿題をがんばってやってくる生徒の割合は、全国89. 5、京都府88. 1に対して94. 1と高い数値を示しています。このことは、生徒の皆さんがあなたに対して非常にまじめに取り組んでいる表れであり、基本的な学習内容の定着にしっかりと繋がっていると考えています。ただ、「予習復習を家でやっているか？」「計画的に勉強しているか？」については、今後もより、学習に対する意欲を高め、一人一人が決められた学習以外のこと、自主的・主体的に取り組んでいって欲しいと思います。

一方で、本校が「総合的な学習の時間」を中心に取組を進めている見通しをもって学び続ける姿を求める課題追究の活動について頑張っているという意識が高く、学習で多く取り入れている言語的活動と合わせて、基本的な知識や学習内容を自分の本当の学力にまで高めていくことができています。それぞの学習や活動がすべて合わさって力がついていくということを意識してこれからも取り組んでいきましょう。

質問：普段1日どれくらいテレビ・ビデオ・DVDを見ますか？

	~4	4~3	3~2	2~1	1~0	0
本校生徒の割合	23. 8	17. 8	28. 7	19. 8	9. 9	0
京都府の割合	13. 7	14. 2	23. 2	28. 6	17. 9	2. 4
全国の割合	12. 0	13. 3	23. 8	30. 1	18. 3	2. 4

質問：普段1日どれくらいゲーム機や携帯電話・スマートフォンのゲームをしますか？

	~4	4~3	3~2	2~1	1~0	0
本校生徒の割合	19. 8	9. 9	13. 9	18. 8	22. 8	14. 9
京都府の割合	13. 7	10. 6	16. 6	19. 9	23. 0	16. 1
全国の割合	11. 4	10. 0	16. 2	21. 4	24. 3	16. 6

質問：普段1日どれくらい携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか？

	~4	4~3	3~2	2~1	1~0	0
本校生徒の割合	13. 9	23. 8	12. 9	14. 9	11. 9	22. 8
京都府の割合	11. 8	10. 0	14. 9	18. 0	15. 5	29. 7
全国の割合	9. 5	8. 6	14. 1	18. 2	15. 9	33. 6

テレビやビデオ、DVDを見る時間が1日で2時間以上という割合が、全国や京都府の割合に比べてかなり高いのが気になります。この傾向は、ゲームをする時間や電話をしたりメールをしたりの時間にも同様に表っています。

このことは、一日の生活の中で、携帯電話やスマートフォン、テレビなどに依存する割合が高い状態であるということであり、生活習慣や学習、学校生活等に影響を及ぼす可能性も高くなるということです。さらに、携帯電話やスマートフォンなどのメール等のやりとりが原因でのトラブルや、その結果としての人間関係の難しさなどに出会う可能性が高いと言うことにもなります。携帯電話やスマートフォンを持つのが当たり前の時代になろうとしていますが、中学生でもきちんと情報モラルを理解し、正しい使い方をしなければならないということでもあるのです。

全体を通して本校の成果と課題

本校は、「生徒の主体性と自立を目指す9年間の義務教育の創造」を目標に、計画的・系統的な一貫教育を地域と一緒に進めています。特に、言語活動を取り入れた教育の工夫に取り組んできました。その成果が、ここ数年の活用力を問う問題の成果に表れており、その力がすべての教育活動に生かされ、本当の学力の向上に繋がっていると思われます。しかしながら、まだまだ知識を中心とした問題では伸び代を残しているように思われ、より論理的な思考や表現力に影響を与えていたと考えられます。「学ぼうとする意欲」「生涯にわたって学び続ける力」をより高めるためにも、個々が課題設定をし、課題解決に向けての探究活動をする学習を各教科で進めています。

保護者の皆様へ

全国学力調査は、子どもたちの生活状況を含めた学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものではありません。学力は、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援とともに、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりに、引き続きよろしくお願ひします。